

## 第 65 回東北海区海洋調査技術連絡会 開催挨拶

本日は、年明けのお忙しい中、第二管区海上保安本部、海上自衛隊大湊地方総監部、仙台管区气象台の関係者の皆様をはじめ、関係機関の多くの担当者の方々に、第 65 回東北海区海洋調査技術連絡会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本連絡会は、昭和 26 年に始まり、今回で第 65 回を迎えるという、長い歴史を持っています。また、その主たる目的は、各機関の海洋調査に関する技術的情報を相互に交換し、観測の効率化を図るとともに、東北海区の海洋の実態について共通認識を構築し、変化を予知するための調査研究等を発表する場とすることです。

近年、調査・観測に必要な船舶に加え、自動観測装置、地球観測衛星、高性能ブイ等の開発、機器の高度化や観測体制の強化、情報関連技術の発達による情報流通の高速化等により、様々な時空間スケールの海洋現象の解明が進んでいます。東北海区においても、海況の高精度な把握および予測技術の開発等を進めて行くためには、観測・研究手段を複合的に使った調査研究がより重要となってくると考えられます。

本日は、日頃の成果発表、関係情報の交換を充分に行っていただくとともに、本連絡会を通して、今後も各機関の横の連携をより一層密にしながら、専門分野において研究を進められ、それらの研究成果がそれぞれの業務に迅速に反映されてゆくことを強く願っています。

以上